

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：24501

学校名：信濃小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果	分析
体力・運動能力 <男子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った記録 握力 上体起こし 長座体前屈 反復横跳び 20M シャトルラン 50M 走 立ち幅跳び ソフトボール投げ ○前回の記録より下回った記録 なし	・前年度よりもすべての記録で向上が見られたが、全国平均と比べると、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走の記録で下回っている。筋力、持久力、俊敏性等、すべての項目での向上を図っていきたい。
体力・運動能力 <女子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った記録 握力 長座体前屈 反復横跳び 20M シャトルラン 50M 走 立ち幅跳び ソフトボール投げ ○前回の記録より下回った記録 上体起こし	・前年度より多くの項目で向上が見られ、上体起こし以外の記録では、全国平均よりも上回っている。引き続き、体育の学習や学校行事等で、運動能力向上を図るとともに、「運動やスポーツが好き」だと考える子どもを増やしていきたい。
運動・スポーツ への意識 運動 習慣	○「運動やスポーツをすることが好き、やや好き」と回答する子どもの割合 R6 男子:88.2% 女子:80.0% R7 男子:89.4% 女子:81.8% ○「体育の授業を除く1週間の総運動量時間が60分未満のほとんど運動しない子ども」の割合 R6 男子:2.9% 女子:7.5% R7 男子:10.1% 女子:6.1%	・全体的に、運動に対する取り組み方に個人差が広がりがつつある。普段からあまり運動に取り組みない児童が運動やスポーツを好きになり、自分から進んで体を動かしたくなる取り組みを考えていきたい。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
-------	-----------------	-----------------------	---------------------

具体的な取組	<p>○子どもが運動の楽しさに触れられる「課題探究的な学習」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら運動能力を高める体育の授業づくり、教材の工夫 ・ICTを活用し、客観的に自分の技を振り返ることができる場づくり ・持久力や俊敏性を高めるなわとび運動の充実(なわとびカードの活用) ・体力テストを全学年で行い(内容は学年に応じて)、結果を保護者に伝え、児童・保護者両者の運動への関心・意欲向上を図る ・「外部講師による授業」など、外部の専門家の積極的活用 	<p>○運動の機会の充実を図る環境整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力向上や運動能力を高めるための「なわとびデー」「マット運動週間」「跳び箱運動週間」の設定 ・運動に取り組める校内外の環境の整備 <p>○三間(仲間、時間、空間)の創出により運動機会の充実を図る取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間の外遊びの推奨 ・学年、学級を通した全員で遊ぶ機会の充実 ・外部講師による、運動やスポーツの楽しさを学ぶ機会の設定 <p>○子どもによるスポーツの機会を創出する取組の立案・実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動におけるスポーツイベント ・異学年交流による体を使った運動の充実 	<p>○各教科等の内容を関連付けた「心と体の教育」推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭、養護教諭と連携した食育および性に関する授業づくり ・給食を「食指導」と捉えた、実践的体験的指導の充実 <p>○外部講師の活用など、家庭地域との連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止教室、人権教育などの健康に関する授業の実施 ・給食・保健日よりで家庭との連携を図る ・「早寝、早起き、朝ごはん」の推奨により、生活リズムの定着を図る
--------	---	--	---

家庭・地域との連携・協働

○OCSの理念に基づき、学校からの取組を発信し、家庭と地域が一体となって、子どもの「健やかな体の育成」を継続して支えていく。
 ○「幼児期における架け橋プログラム」および「小中一貫した教育」と連動させて、縄跳びなどの運動を継続的に取り組む。
 ○健康に関する学習を家庭に知らせ、子どもが継続して取り組んでいけるようにする。